

スキンケア講師スタートプログラム

Lesson 1

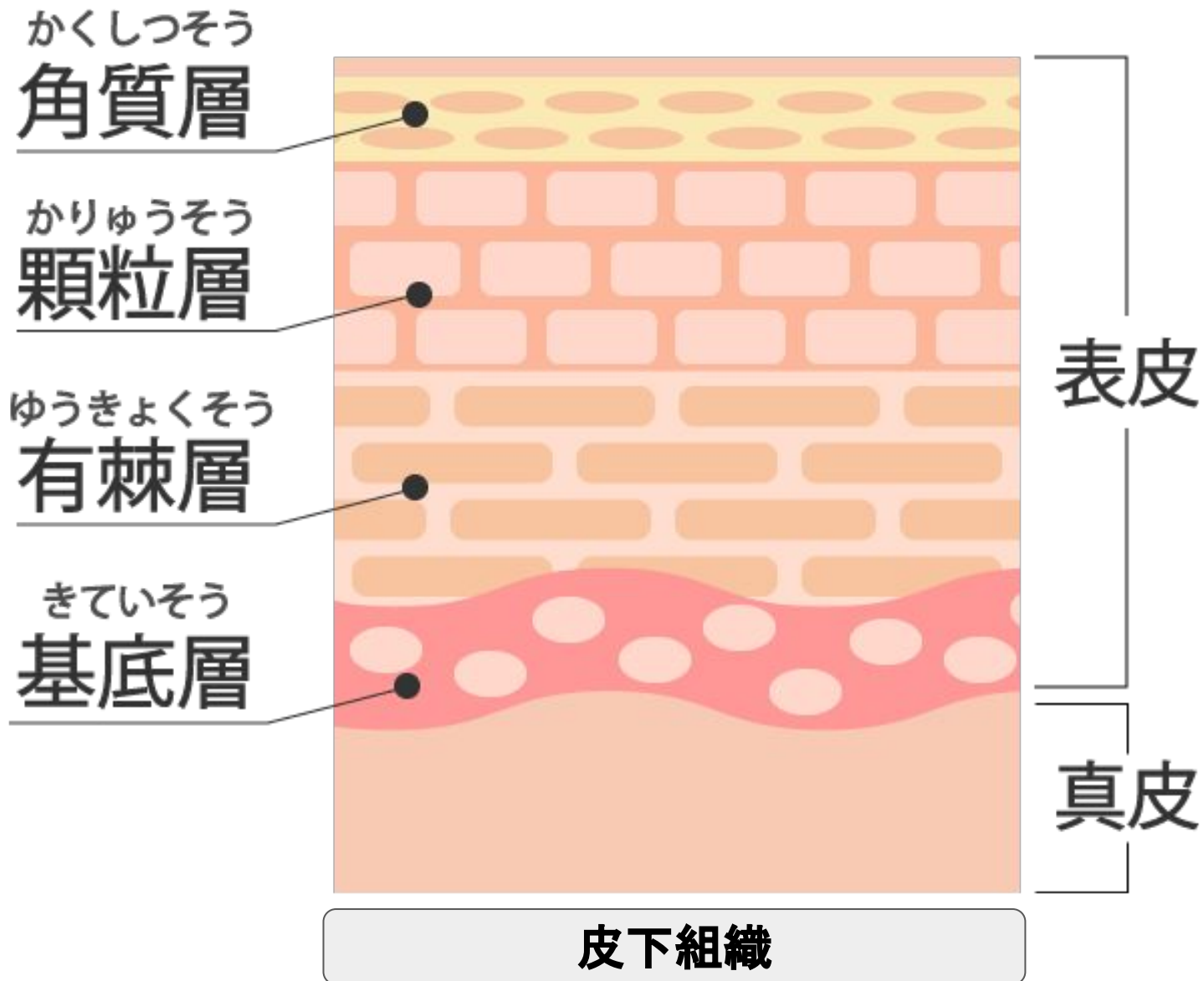
—

第1章

皮膚理論

皮膚構造としくみについて

皮膚の構造と働き



表皮層について

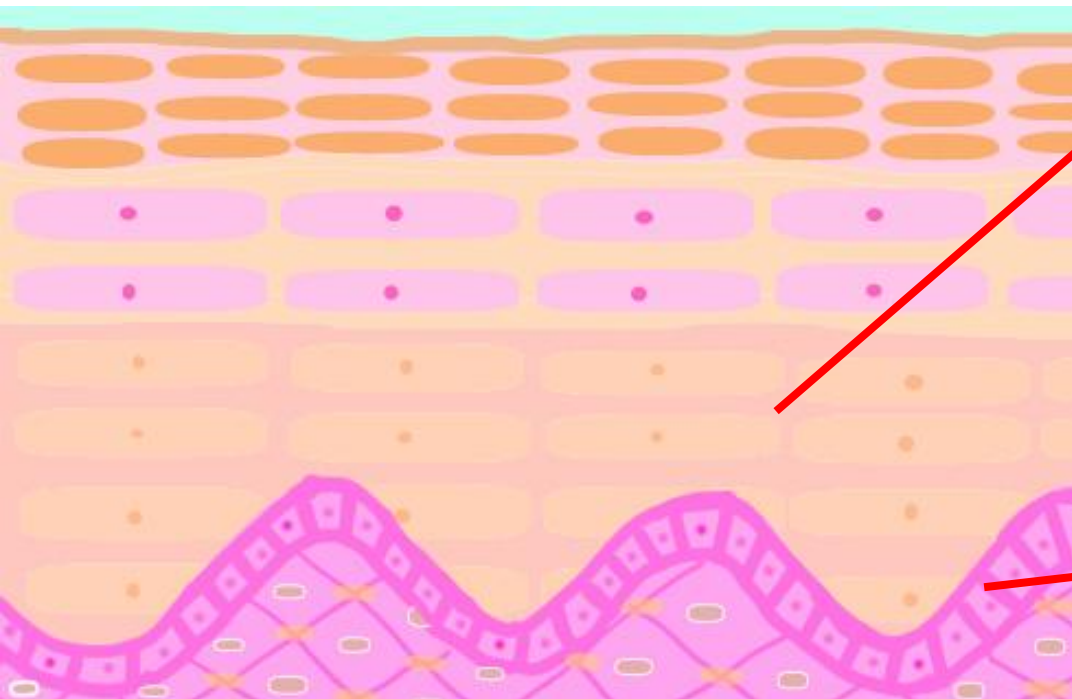


基底層のメラノサイトが分化しながら角層に上がる



最終的に垢となって剥がれ落ちる

||
角化

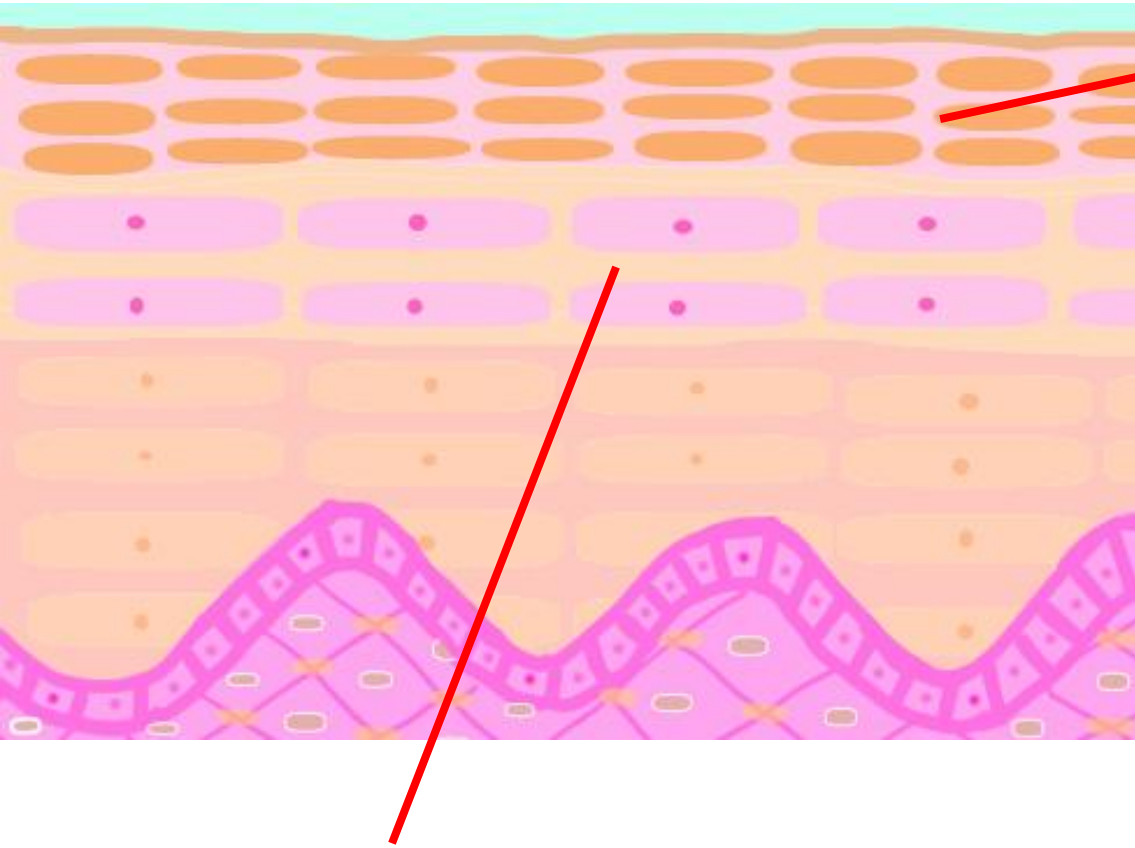


有棘層

- ・酸素や栄養を受け取る(基底膜通過)
- ・タンパク質合成をする

基底層

- ・新しい角化細胞を生み出す
- ・メラノサイトが存在し、メラニン色素を合成する



角層

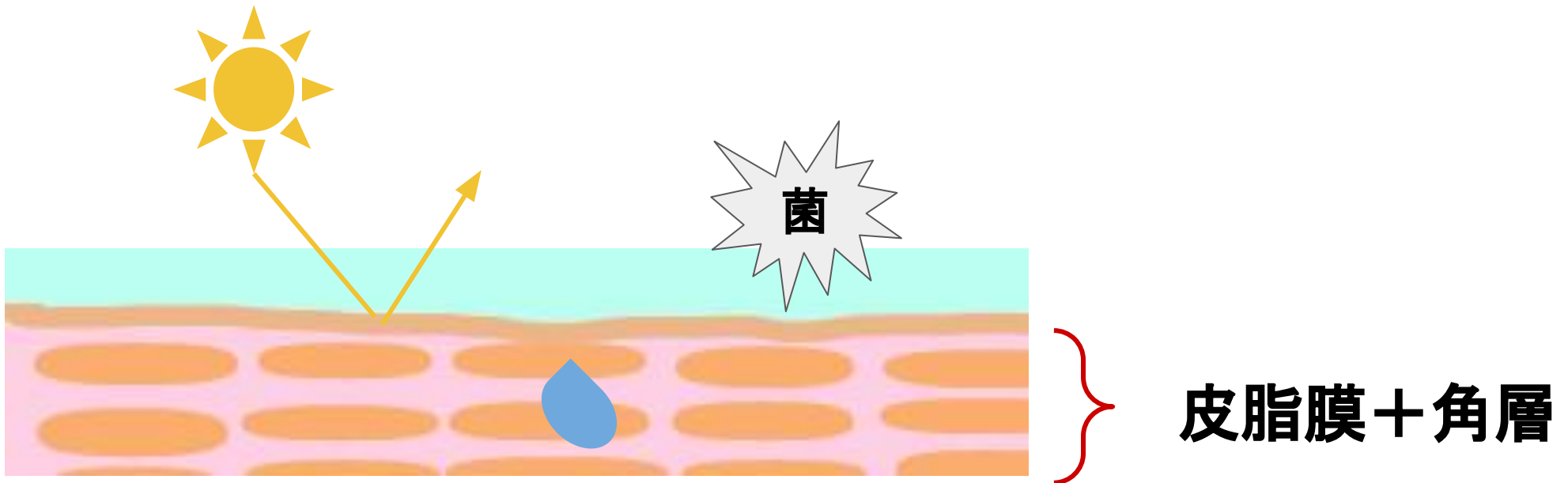
- ・NMF、細胞間脂質、皮脂膜が存在する
- ・バリア機能により外的刺激から肌を守る
- ・肌の潤いを守る

顆粒層

- ・顆粒細胞が角化により角層に変化する。
- ・**NMFの主成分となるアミノ酸**の源を作り出す。

肌のバリア機能とは？

- 肌を外的刺激から守る
- 肌水分の蒸発を防ぐ
- 肌を柔軟に保つ



・皮脂膜(肌の潤いベール)

||

表皮脂質(スクワレン、トリグリセリドなど)

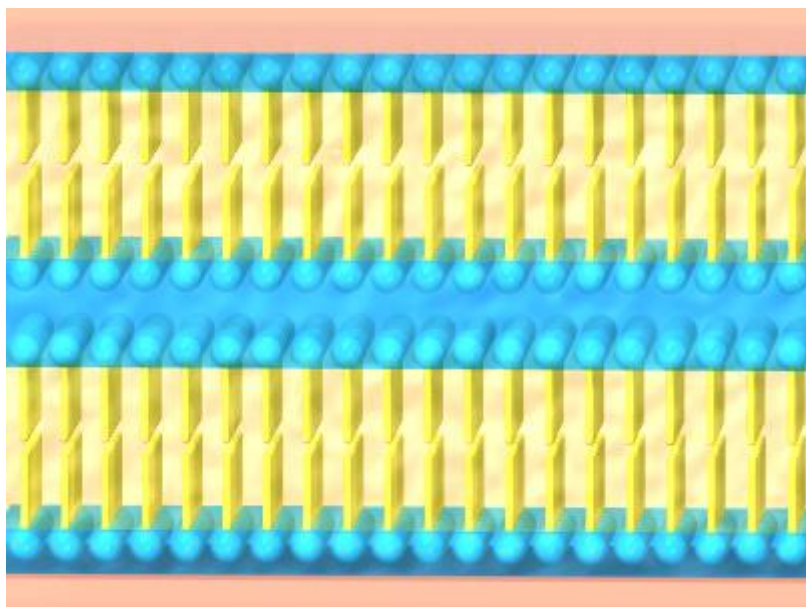
+

汗(水分、塩化ナトリウムなど)

・角層=NMF、細胞間脂質

強力なバリア機能を持つ

バリア機能の主＝細胞間脂質

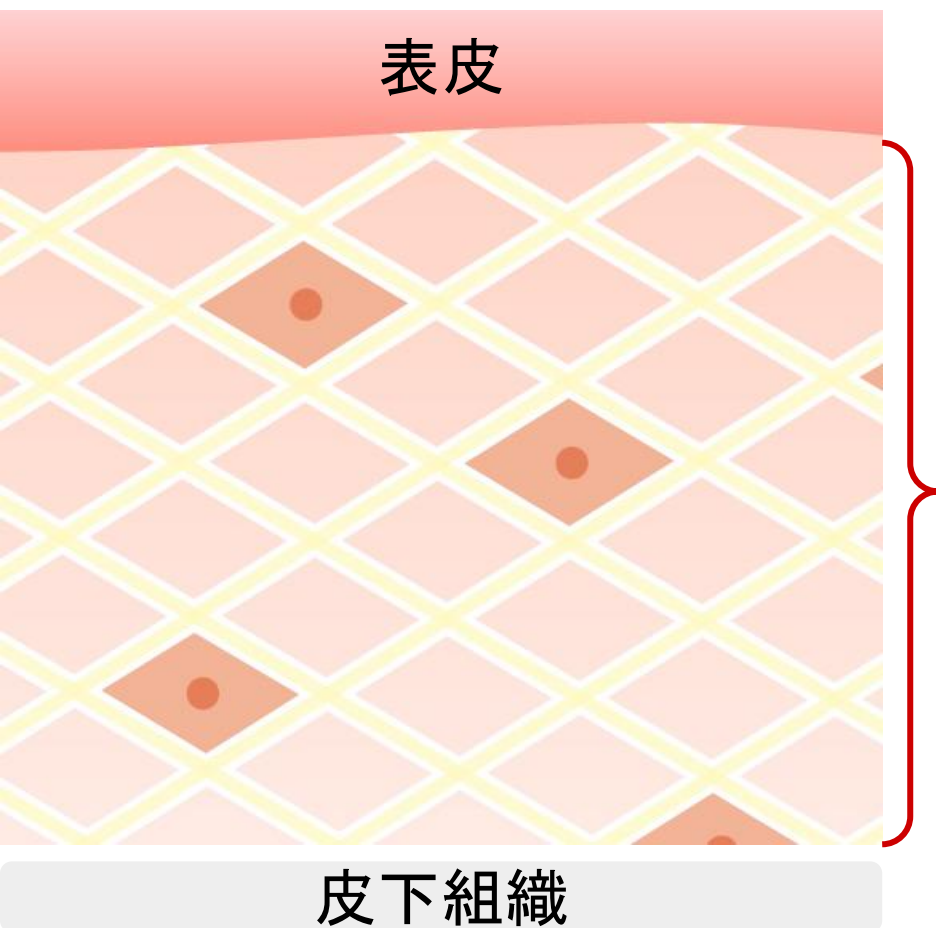


- ・細胞間脂質の大部分がセラミドでできている
- ・角層内部の水分を挟み込み、止める働きがある
- ・水にも油にも馴染みやすい性質
- ・ラメラ構造により化学物質や雑菌が皮膚内部に侵入するのを防ぐ。水分蒸発も防ぐ。

セラミド配合化粧品で角層内のラメラ構造を補修し
乾燥肌や敏感肌のケアができる。

真皮層について

皮膚のハリと弾力を維持する



- ・全体の70%はコラーゲン線維でできている。
- ・コラーゲン線維、エラスチン線維、線維芽細胞、基質がある。
- ・乳頭層、網状層の2層でできている

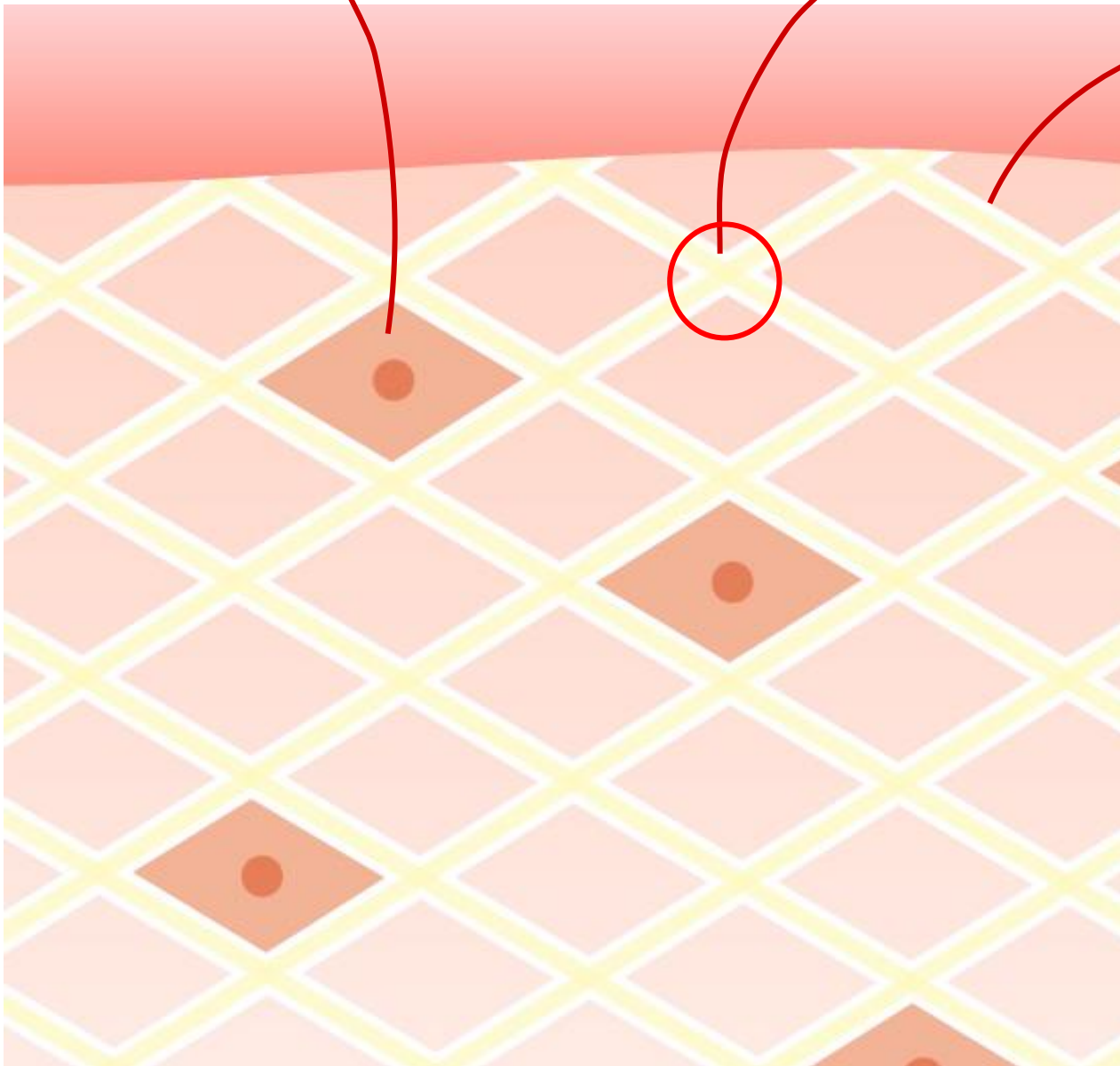
線維芽細胞

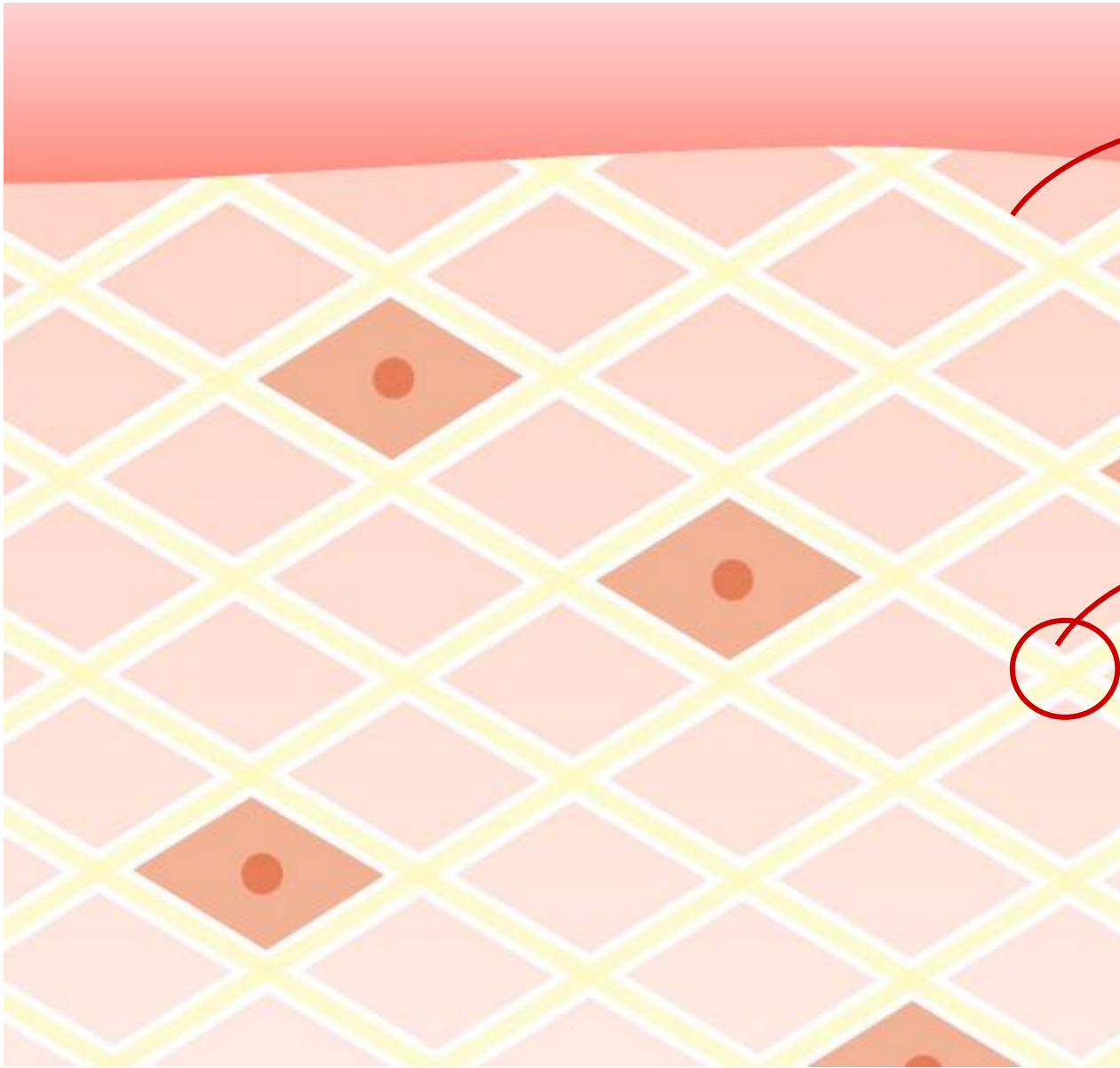
エラスチン線維

コラーゲン線維

乳頭層

網状層





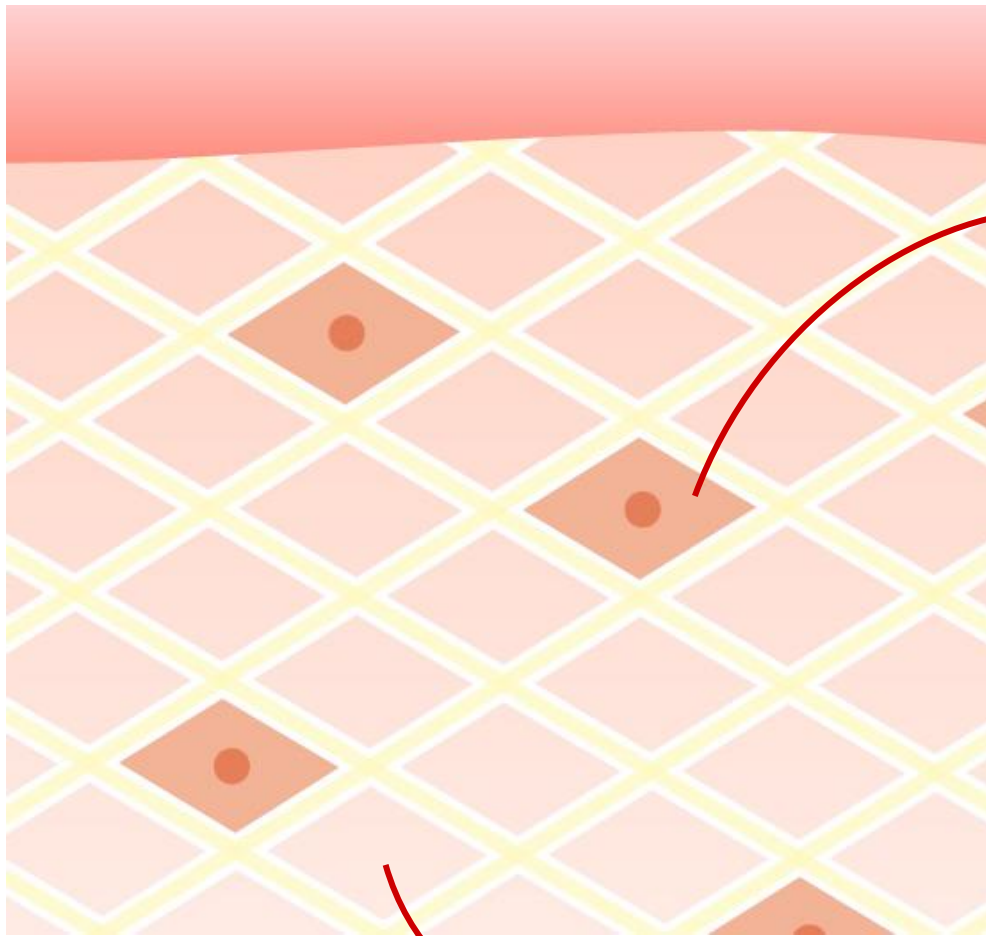
コラーゲン線維

- ・タンパク質の膠原線維（結合組織を構成する線維）

エラスチン線維

- ・コラーゲン線維を支える働き
- ・タンパク質の弾性線維（ゴムやバネのような線維）

皮膚にしなやかさと弾力を与える



線維芽細胞

- ・コラーゲン線維、エラスチン線維、基質を作り出す。
- ・自らも細胞分裂をして、線維芽細胞をつくる。
- ・古くなった線維を分解する

基質

- ・ムコ多糖類(ヒアルロン酸の元なる成分)
- ・その他ビタミン、タンパク質などが溶け込んでいる



真皮層は表皮を支えるため
常にピン！と
張っていることが大事。

コラーゲンだけでは支える力が弱い。

コラーゲンを強力なエラスチンで
つなぎ合わせれば

**強く長期的に
表皮を支えることができる。**

肌を若々しく保つことができる



若々しい肌を保つためには
まず衰えた機能を修復することが第一歩

肌に備わっているモイスチャー成分

皮脂膜の
皮表脂質の成分
(肌内部ではスクワレン)

アミノ酸

角層のNMFの主成分

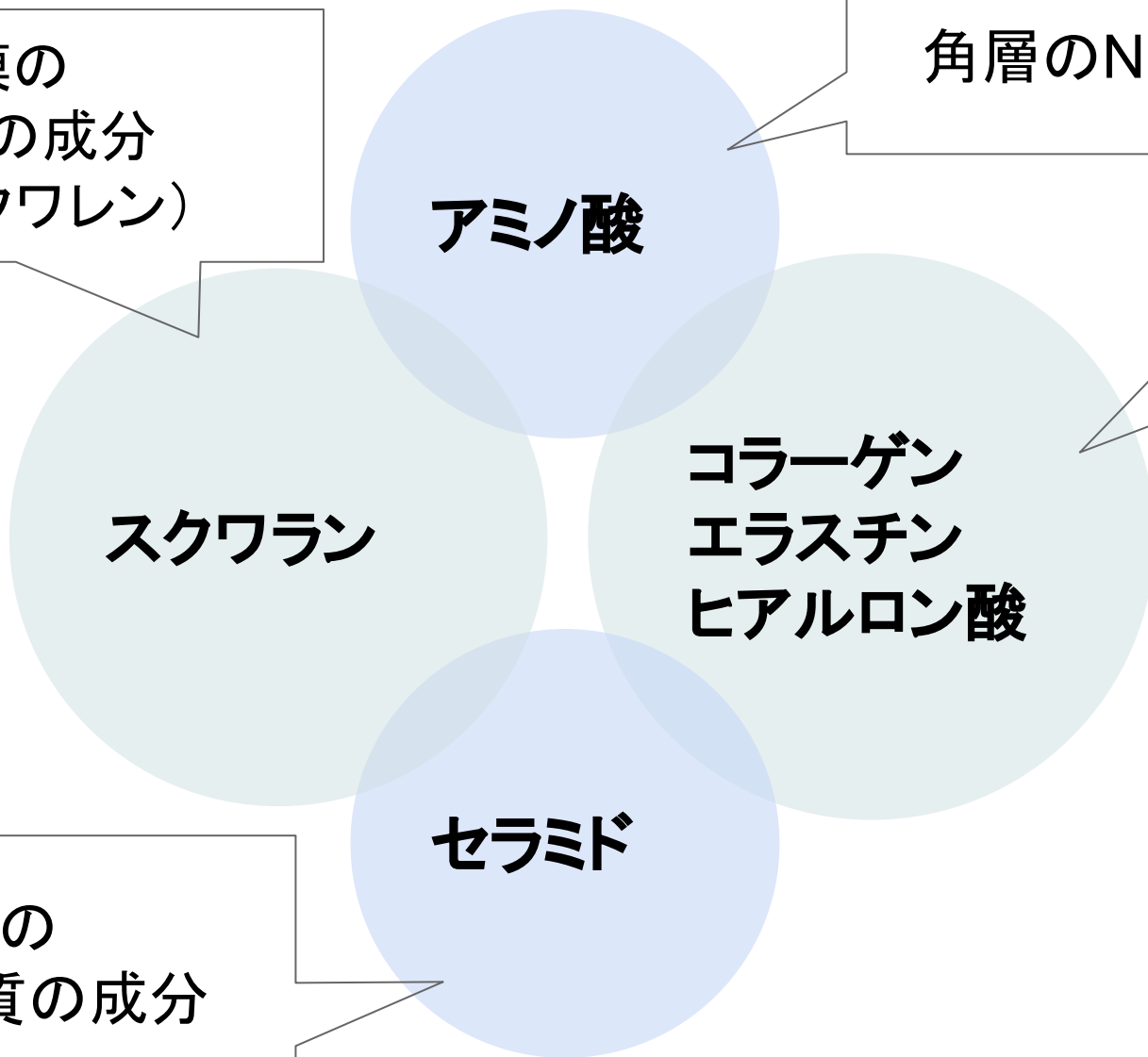
スクワラン

真皮層の成分

コラーゲン
エラスチン
ヒアルロン酸

セラミド

角層の
細胞間脂質の成分



効果的なスキンケア成分の選び方

衰えた肌機能

- ・弾力がない
- ・ハリがない
- ・肌がごわつく
- ・乾燥による粉ふき



元の状態に戻す

<補う成分>

- ・コラーゲン
- ・エラスチン
- ・セラミド
- ・スクワラン
- ・ヒアルロン酸
- ・アミノ酸



肌悩み対応の化粧品成分で補う

<エイジングケア成分>

- ・ビタミンC誘導体
- ・アルブチン
- ・幹細胞培養エキス
- ・プラセンタエキス
- ・レチノール
- ・グロスファクター
- ・フラーレン
- etc...




特に乾燥による肌荒れがひどい場合に
補充成分よりもエイジングケア効果の高い成分を使
用すると、刺激を感じる場合があります。
まずは肌のバリア機能を整えることが優先です。

一般化粧品は角層まで

医薬部外品は
より深い真皮層まで
効果が認められている

化粧品成分(美容成分)は
どこまで届くの？

- 
- The diagram illustrates the skin's structure with two main layers: the epidermis (top) and the dermis (bottom). The epidermis is shown as a solid pink layer. The dermis is depicted with a yellow and white diamond-shaped grid pattern representing collagen fibers. Two red arrows point downwards from text boxes above. The first arrow points to the boundary between the epidermis and dermis, indicating the penetration limit of general cosmetics. The second arrow points deeper into the dermis, indicating the penetration of quasi-drugs. Small brown dots representing ingredients are shown at the surface and within the dermis.
- ・メラニンの生成抑制
 - ・シワ改善など